

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	3	図書館費

所管課	生涯学習課
事業名	図書館管理運営費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	28,603	29,043		27,428			27,428	▲ 1,175
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	21	20	21			21	0
	一般財源	28,582	29,023		27,407		27,407	▲ 1,175

事業概要	知の拠点としての市民図書館(本館・分館)の職員の人件費及び維持管理にかかる経費、新書の購入費を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	市民の知の拠点である市民図書館の充実を図る。		
現状と背景	平成18年から図書館のIT化を開始し、利用者の利便性を図っている。平成21年度の蔵書冊数は13万6千冊を超え、図書貸出個人利用者数も2万6千人となっている。また平成21年度から祝日開館も実施し、入館者は7万7千人となった。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	3	図書館費

所管課	生涯学習課
事業名	読書活動推進大会開催事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	117	107		107			107	▲ 10
財源内訳	国							0
	県	58		53			53	▲ 5
	市債							0
	その他							0
	一般財源	59	107		54		54	▲ 5

事業概要	胎児期のブックスタートから高齢期までの生涯読書の推進を目的とし、小中学校や読み聞かせ団体の、読書に関する活動の発表や、その年のテーマに沿った講演会を開催する。 当事業に開催の為の公演講師謝金、会場費等を予算化している。 会場:文化ホール 対象:一般市民	今年度見直し事項	
事業目的	胎児期のブックスタートに始まるように人生におけるそれぞれの時期に応じて読み聞かせや読書活動を体験し、生涯をとおした読書活動を推進することにより、誰もが読書の楽しさや素晴らしさを実感できることを目的とする。		
現状と背景	近年情報メディアの発達・普及により、子どもの「読書離れ」が進んでいる。 平成17年6月、読書で未来をひらくまち境港を目指して「境港市子ども読書活動推進計画」を策定し、市民図書館における子どもの読書活動の推進を図るため、講演会などの実施をしている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	3	図書館費

所管課	生涯学習課
事業名	鳥取県図書館協会負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	9	9		9			9	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	9	9		9			9

事業概要	県内の図書館の連携、情報共有を目的に設置されている鳥取県図書館協会に対する境港市の負担金を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	県内の公共図書館、高専・短大・大学図書館、学校図書館及び幼稚園、保育園、読書団体等の連絡連携のもとに図書館の発展を図り、鳥取県の文化の向上に寄与することを目的とする。		
現状と背景	鳥取県図書館大会や他市町村の図書館の視察等に参加し、図書館司書のレベルアップと市民の知の拠点としての市民図書館機能の向上に役立っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	3	図書館費

所管課	生涯学習課
事業名	市民図書館省エネ改修事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	0	60,068		55,855			55,855	55,855
財源内訳	国							0
	県	0	50,000	50,000			50,000	50,000
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	10,068		5,855			5,855

事業概要	環境省の公共施設省エネ・グリーン化推進事業を利用し、一般市民の利用者が多い市民図書館本館において、太陽光パネルの設置及び現在灯油で稼動している空調設備の電気への取替えを行う。	今年度見直し事項	
事業目的	省エネ改修を行うことで、自然エネルギーの活用や温室効果ガスの排出削減など環境にやさしい事業に取り組む。		
現状と背景	現在の灯油による空調設備は設置後22年が経過し、耐用年数15年を超えている。現状の本館では、設置可能な太陽光パネルは15.6kwが限度なので、照明電力の76%を補う。	その他	